



野庭すずかけ小だより

8・9月号

横浜市立野庭すずかけ小学校
2026(令和8)年8月27日
TEL 842-3105

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nobasuzukake/>

楽しい おもしろいのあとを 楽しむ おもしろがる

校 長 船山 道太

この夏、熊本で大規模な地震、また、千葉での記録的な大雨により、たくさんの方々が被害に遭われました。被災された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を願っています。

子どもたちが夏休みに入ると、校庭に設置されている WBGT 計が、朝の7時台にもかかわらず、暑さ指数 31℃（「危険」）をこえたことを送ってくる。中学校のグラウンドに目を向けても、何年か前のようすとは、だいぶ違うことにも気づかされる。しかし、8月の中旬には気温も落ち着き、ちがった風情を感じることもできた。夏休み中にばったりと出会った子どもたち、保護者、地域の皆さんが、笑顔で声をかけてくれる。野庭すずかけ地域はいいところだ。子どもたちが学校に帰ってくる。そのままで十分な子どもたちだ。役に立ちたい。

この夏休み、野庭すずかけ小学校では、LED 照明の取り付け作業が行われていた。子どもたちは照明の変化に気づいたでしょうか。ご家庭で話題にしてみてください。これから、窓サッシ等の取り換え、また、体育館の空調の取り付けなどの予定もある。環境を整備していただき、感謝しかない。もう 45 年ほどが経ち、だいぶ古くはなったけれども、この学校を子どもたちとともに大切にしていきたい。

夏休み前、最後の朝会で、「たくさん寝る、早く寝る、早く起きる」話をした。保健委員会の子どもたちは、運動することの大切さについて考え、学校保健委員会でラジオ体操を全校児童に勧めていた。私は、生活のリズムも維持でき、適度な運動もできる、朝 6:25 から始まる NHK の E テレ「テレビ体操」の紹介もした。子どもたちに話しておいて、やらないわけにはいかないと、この夏、休まず朝のテレビ体操に取り組んだ。何も変わったことは起きなかった。体は相変わらず固いままだし、前にも後ろにもいかない。ただ、子どもたちへの義理というのか、やめるわけにはいかなかった。子どもたちは、忘れていても、私は忘れることはなく続けることができた。ただ、体操の効果を聞かれることだけが、怖い。

学校では、子どもたちが、学習に興味・関心をもてるようなしかけや工夫をして、主体的に学習に取り組めるきっかけづくりに努めている。しかし、その先、ゴールに到達するまでには、おもしろさや楽しさを見出しにくいものもある。おもしろかったらやる。おもしろくなかったらやらないということもある。そうすると、学びが止まる。

それをどうしていくかを私たちは考えている。子どもたちには、自分のよさに気づき、自らの可能性を認識して生きていってほしい。これからの学校教育にとって、大きな仕事となる。主体性が育っていくことは、自分の人生を生きることにつながっていく。人生は長いのだ。それでも、まずは目の前のことをするしかない。主体性、子どもの中に育てていきたい力である。